

快奇！・ビンビンフ エロモン病

原作 木憂

作画 くるくる





もうイキそう…
イって良い…?

あ…うん。

アッ



アッ



アッ



確かに…
結婚して以来
一番してるかもね…。

なんか最近
すごいしてない？



確かに…
(またブラ
変えたし…)



みさきの体つき
ここ数ヶ月で
変わったよね。



ヤバイ…
また勃って
きちゃった…。

え…

口で
しよつか？

うん…。



早く終わったし
みさきの顔でも
見てくか。

ついでに
何か買ってこ。



うわ…
たっか…



ん？なんか
この列だけ長くくね？
てか、男率高くないか？

他にもレジあるのに
何やってんだ？



んつとあの...
連絡先とかかって...

えっと...

えっと...

夫がいます
ので...

どろ
どろ



みさきの列かいー！

なんか男ら全員スヶべな
顔なってるけどー！？







それで
言うとは...

今日実はウエツマート
寄ったんだけど、みさきの
列だけやたら人多くない？



ってな感じでさあ
告られたの今月で
三人目なんだよね。

モテすぎ
やろ...



ん...?

みさき？

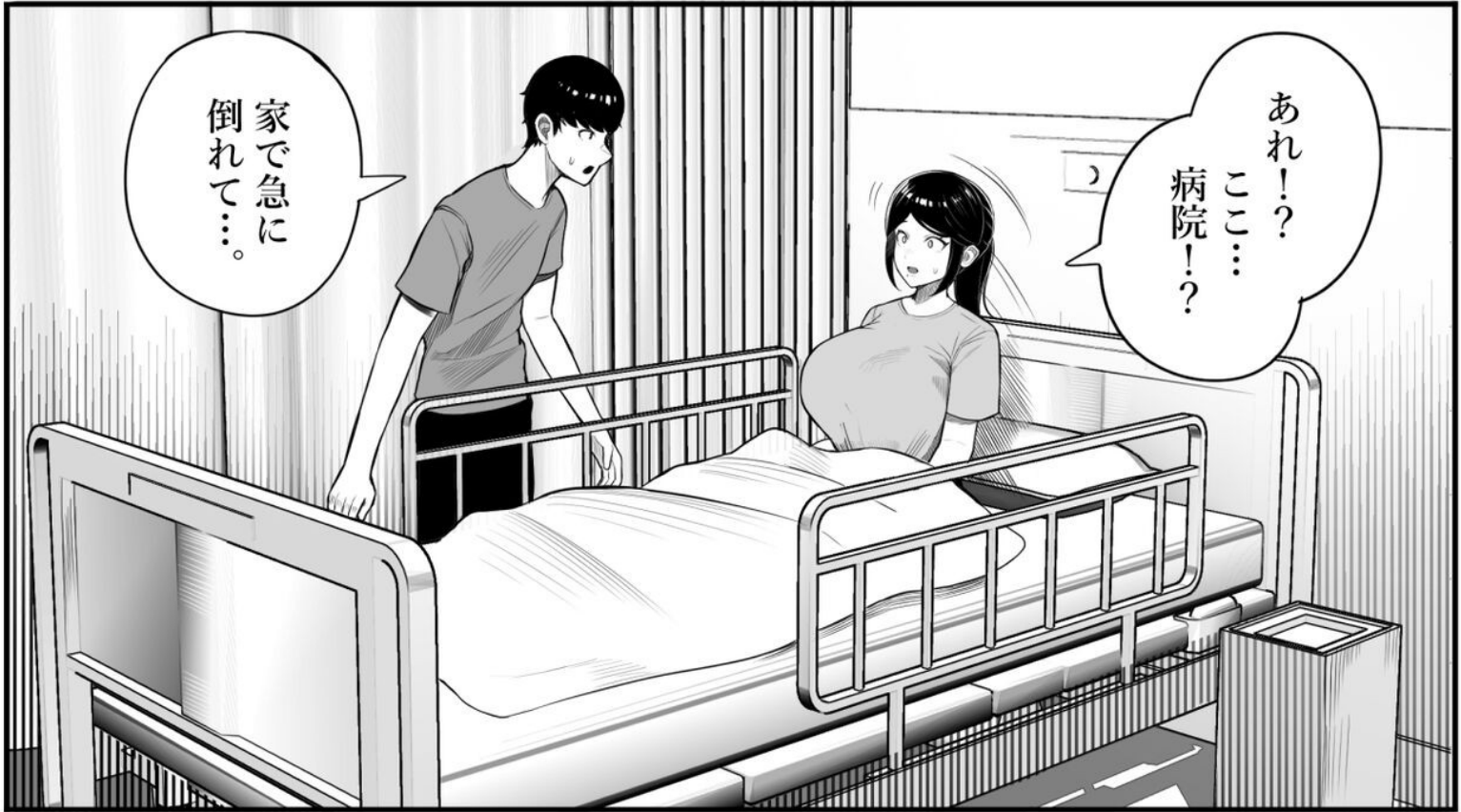
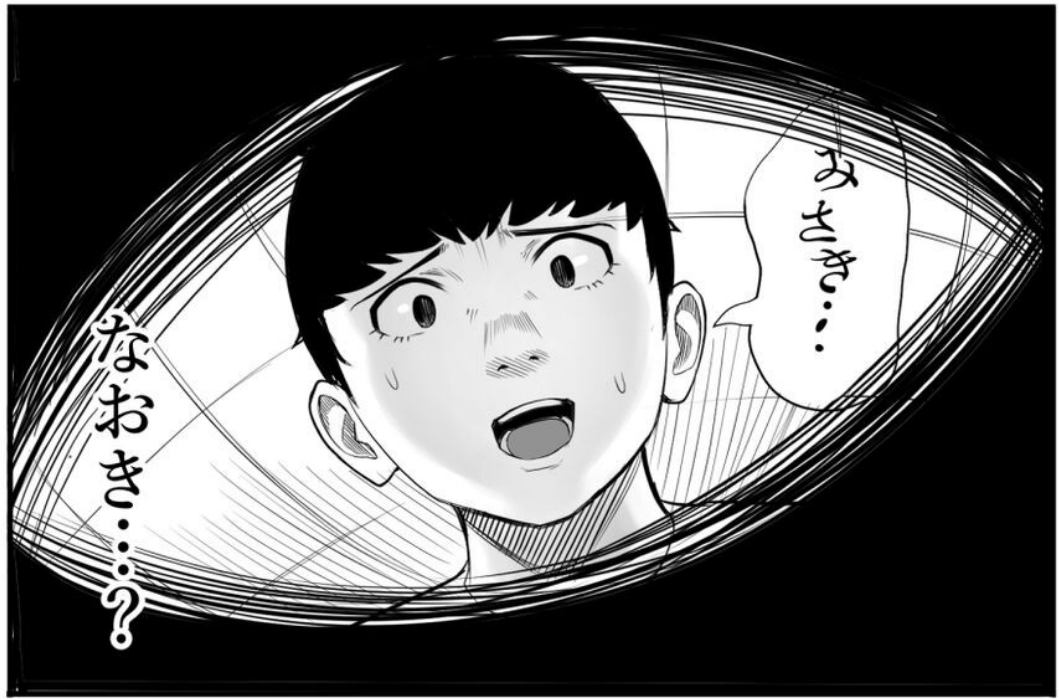
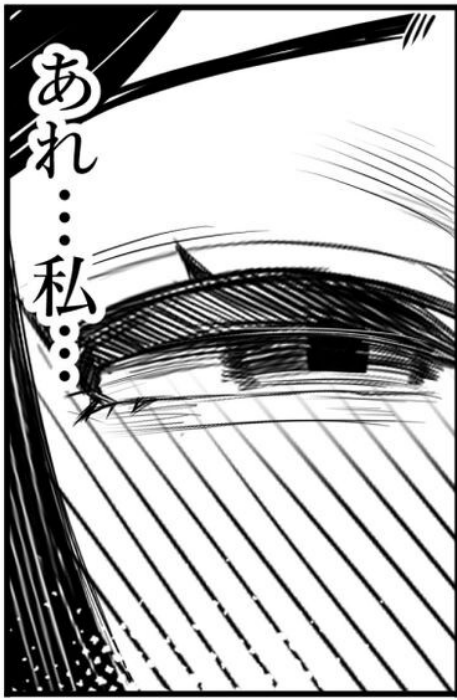
そうなんだよね...
最近すごい変なこと
多くてさ...



なんか...
体が...

みさき...?!

みさき!!



絶対的信頼の天才医師

ドクター鬼頭

つとなる…
と…うん…。

奥さん
失礼。

むぎ

…ん？

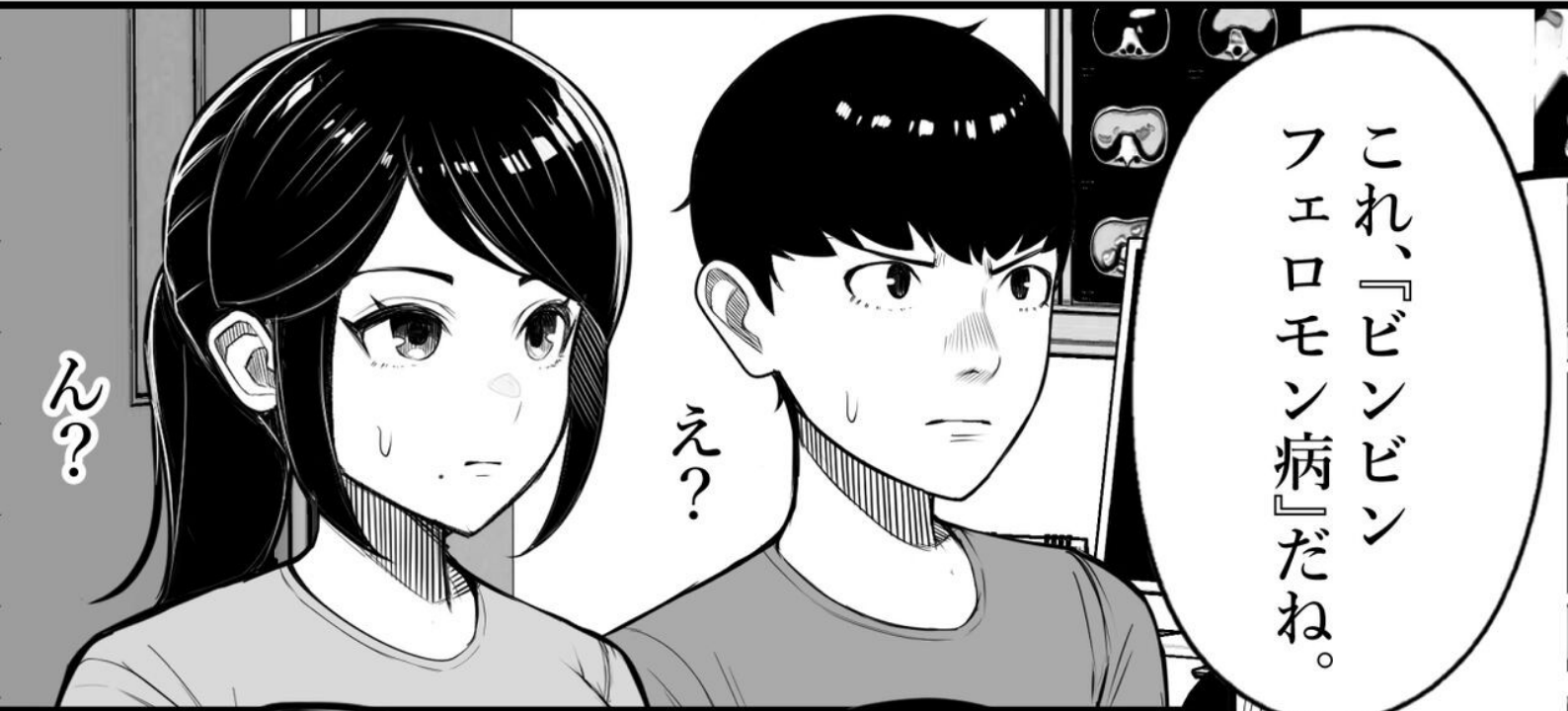
まあまあ…
検査ですので…

ふむ。ふむ。

何やってんだああ！
このハゲヤブ医者！

オキ

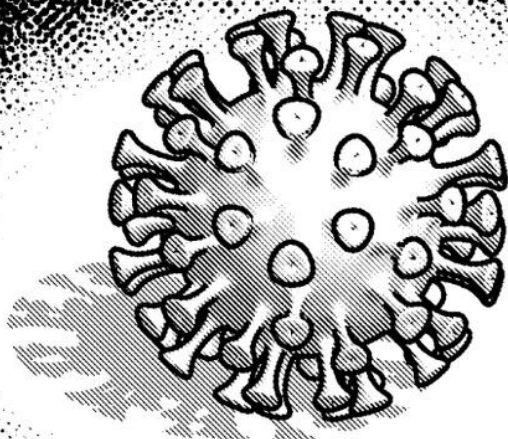






ビンビンフェロモン 高敏感性放出病

起源は謎とされ
女性のみが突如
発症する病気。



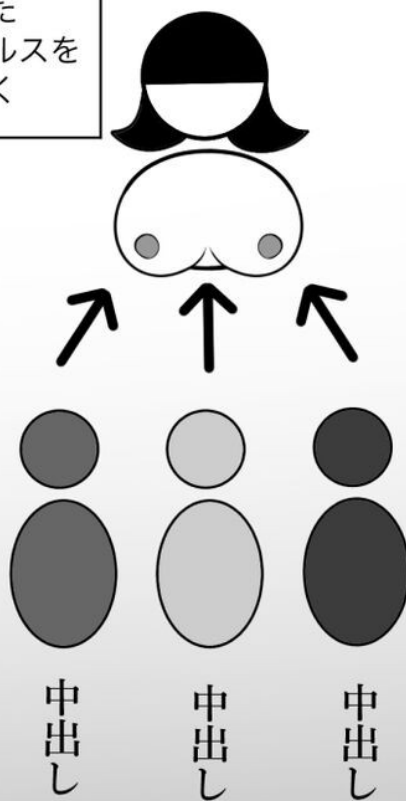
ドクター鬼頭いわく
近頃、増加傾向に
あるらしい。



発症者は胸や尻が
急成長しフェロモン
放出量を急増加させる。

また、周囲の男性や
発症者自身の性欲を
活性化させる。

治療法はひとつ。3人以上と
性交し、高スパンで精子を
取り込むことで徐々に回復する。



体内に入った
精子がウィルスを
撃退していく

精液がこの病気を倒す
薬になるわけか…。

にしても、最近起こった事と
いくつも共通点がある…。

やはりみさきは…

やらねば発症者は
自我を失い脳が性欲に
支配されてしまう！

しかし先生！
3人以上と
性交って…！

それがさらに悪化
すると伝染を引き
起こし最終的には

『超性欲爆発』
ドスケベハザード
が起こってしまう！

ド…ドスケ…ドス
…何だっ…！？

オ
オ
オ
オ

これはまずい
ことになった…

おいぼれをここまで
反応させるとは…

今までのとは頭ひとついや、
亀頭ひとつ飛び抜けている。

先生今日は
ありがとうございました。

みさきが他の男と
やるなんて絶対嫌だ。でも
みさきを失うくらいなら…



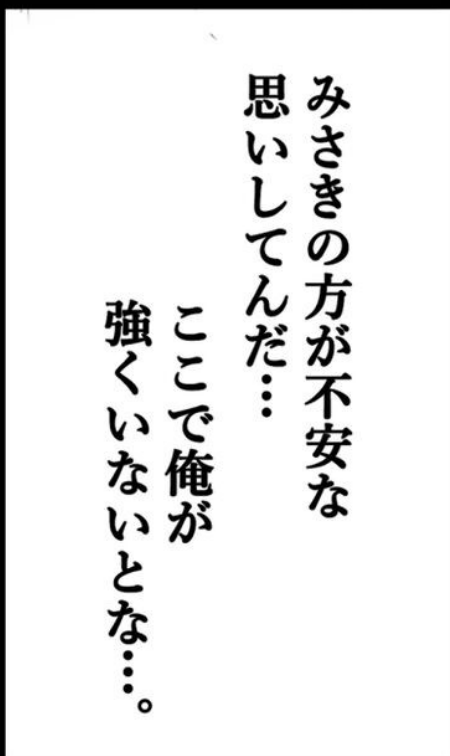
もう考える
余地はない。



まあさ。嫌なこと
終わらせて、また
元の暮らしに戻る。



ごめん…
私のせいで。



みさきの方が不安な
思いしてんだ…

ここで俺が
強くないとな…

うん…

決行日

トホホー

お、お邪魔
します…。

き、今日はよろしく
お願いします…。

う…ん
よろしく…。

何だこの爽やか
イケメンは…。



何なんだよ
失礼のない
Hって…。

そうですね…
失礼のないHを
心がけます…。



とりあえず
目的は射精
だから…。

できるだけ
速やかに終わ
らせてね…。



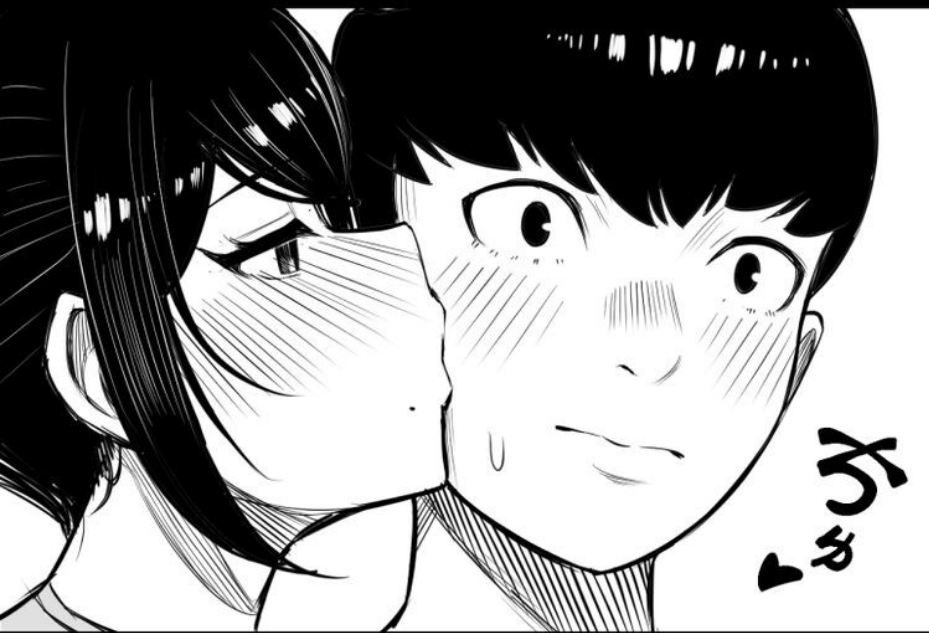
先生に言われた通り
カメラ置いてるから…

うん…



本番になった時に
異常行動することがある
から常に録画しておくこと。

もし、また運ばれたら
録画したものを提出してね。



ふん



みさき…

正直怖いよ…



うん…

ごめんな…みさき…
信じてやれなくて。



大丈夫。

愛してるから。



広いですね…
綺麗な寝室。

夫が綺麗好き
だからね…。



どうか早く
終わります
ように…

もう始まつてるのか…
俺らの寝室で…

いまごろみさきが
触られて…。



これが話していた
カメラですか…。
恥ずかしい…。

それはお互い
様でしょ。



REC



早くなおきを
安心させなげや...

もう恥なんか
どうでもいい。

REC



いいよ。
触っても



痛く…ない
ですか…？

うん…

なおき以外に
揉まれるの
すごい変な感じ…



むじゅ



失礼します。

カッパッ

ごごめんなさい。
急がないと旦那さん
に悪いと思って
早まりました…



ひろと…
くん…？



何…これ…

あらおどろ

うん…ま、まあ。
そうだね…

REC

声が...

勝手に...

なおきに
聞こえ...

ちよつと
ペース上げ
ますね。

くちゅ

くちゅ

ん

ん

REC

ん

ん

あ
あ
あ

ん

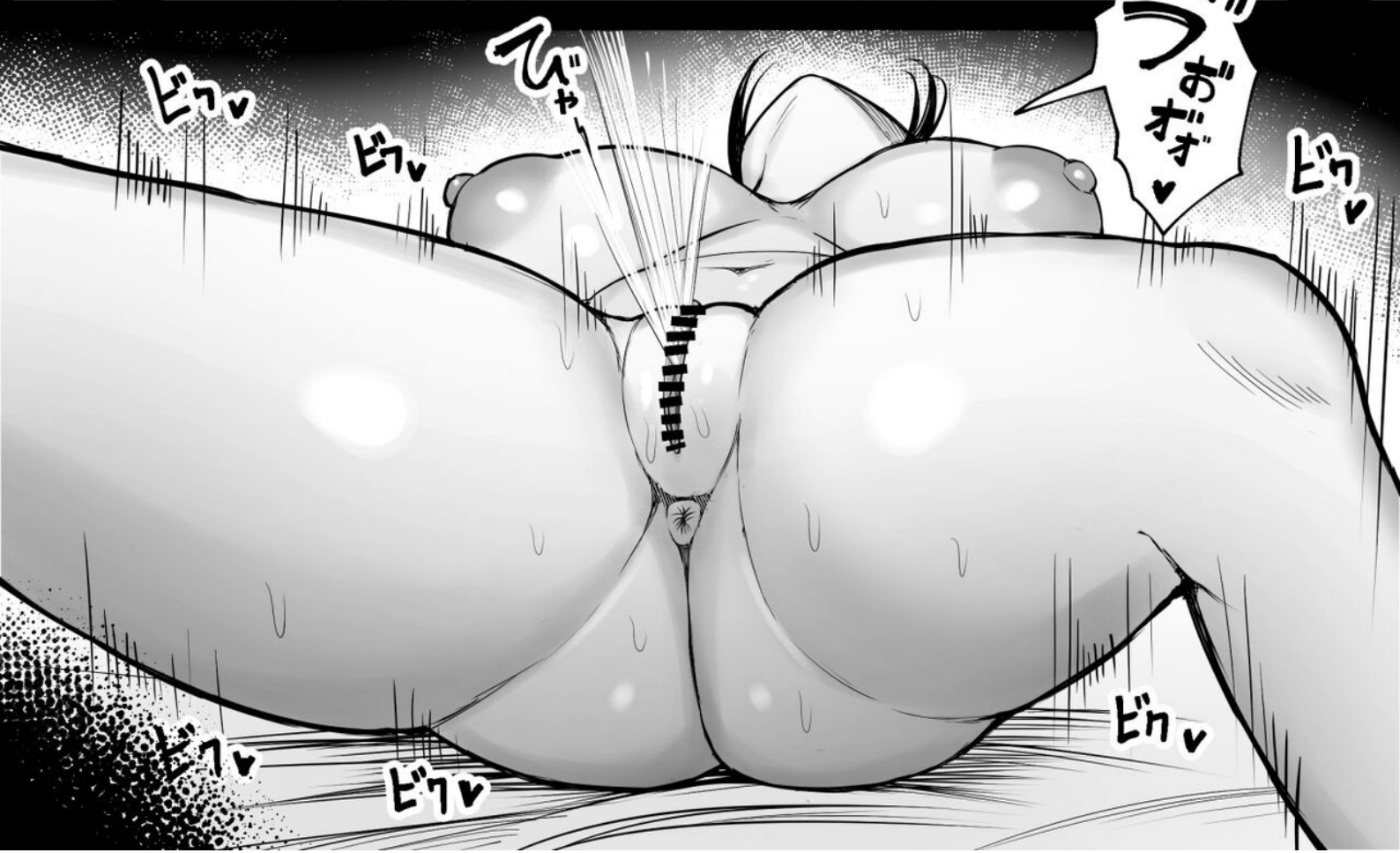
ん

ん

ん

ん

これ…ヤバイ…
なんか出る…



REC

満足して
もらえて良
かったです。

ヒロトくん…
凄かった…。

結構自信あつた
んですね…。

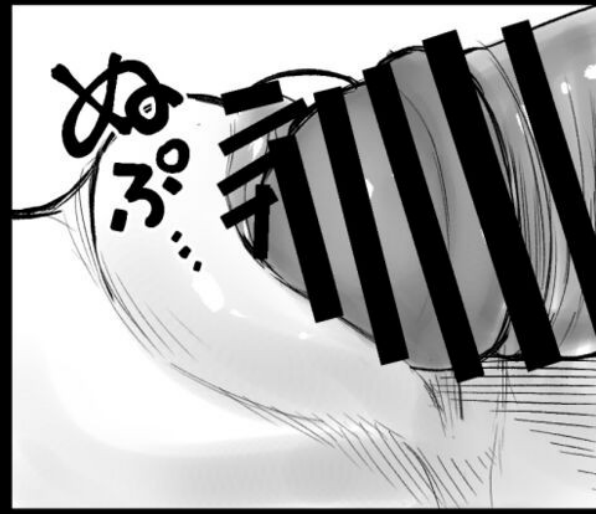
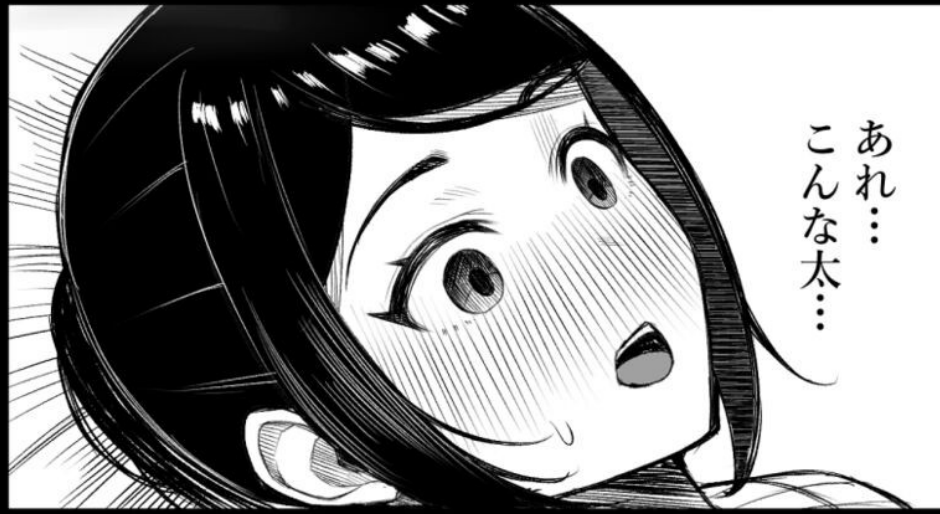


ぐん

こっちの大きさも
自信あるので…。

ピンピンフェロモン病
のせいでいつもよりも
ひとまわりデカくなってる。







あれ…
もう奥だ…。

ダメだ…これ以上
入らない…一旦
ストッ…プ…

ビュ
ビュ



ずず

あぁあぁ

痙攣が止まらない。。。
もうとっくに
イってたんだ私。。。。

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

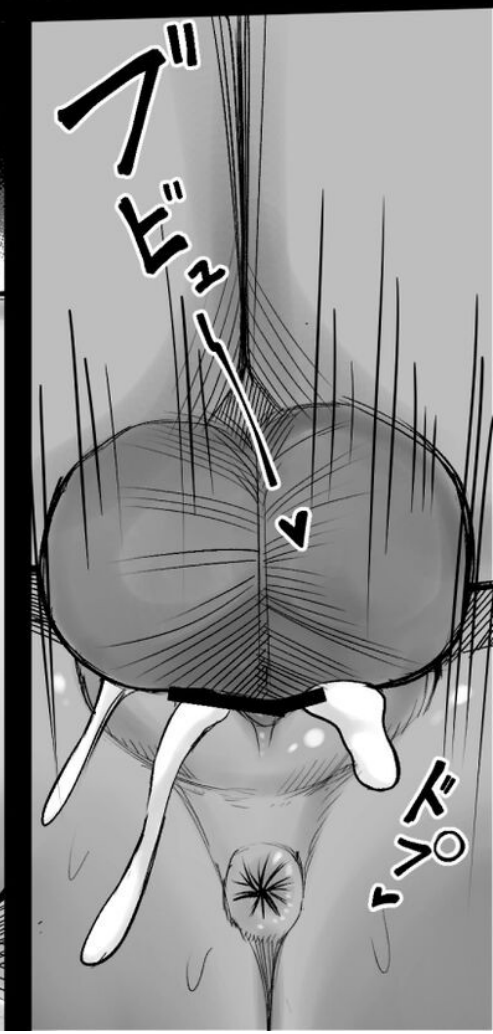
あ
あ
あ

あ
あ
あ

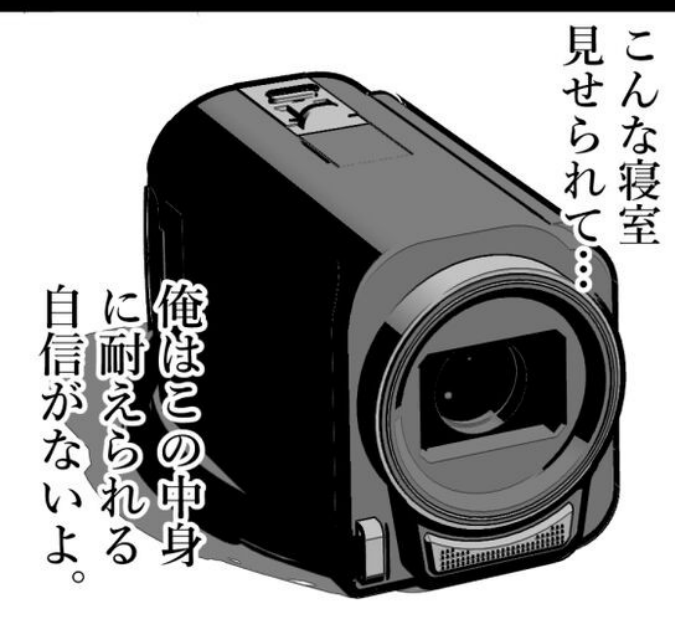
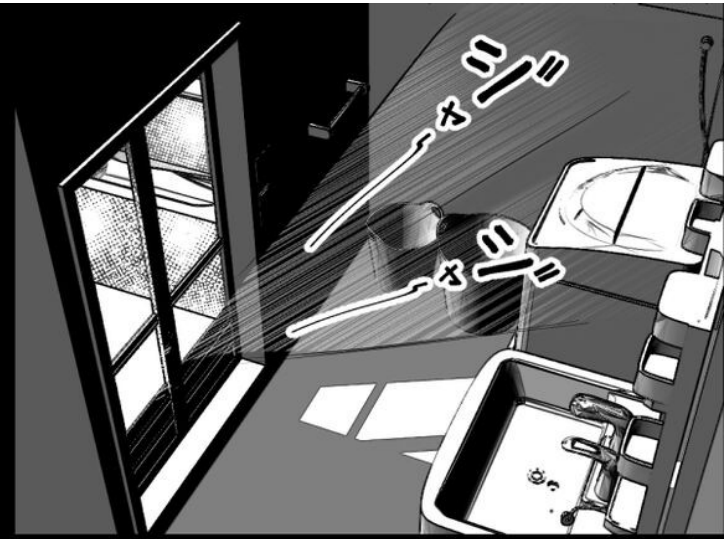
あ
あ
あ















ああヤバい♡

ハッ♡

ノッ♡

ノッ♡

ノッ♡

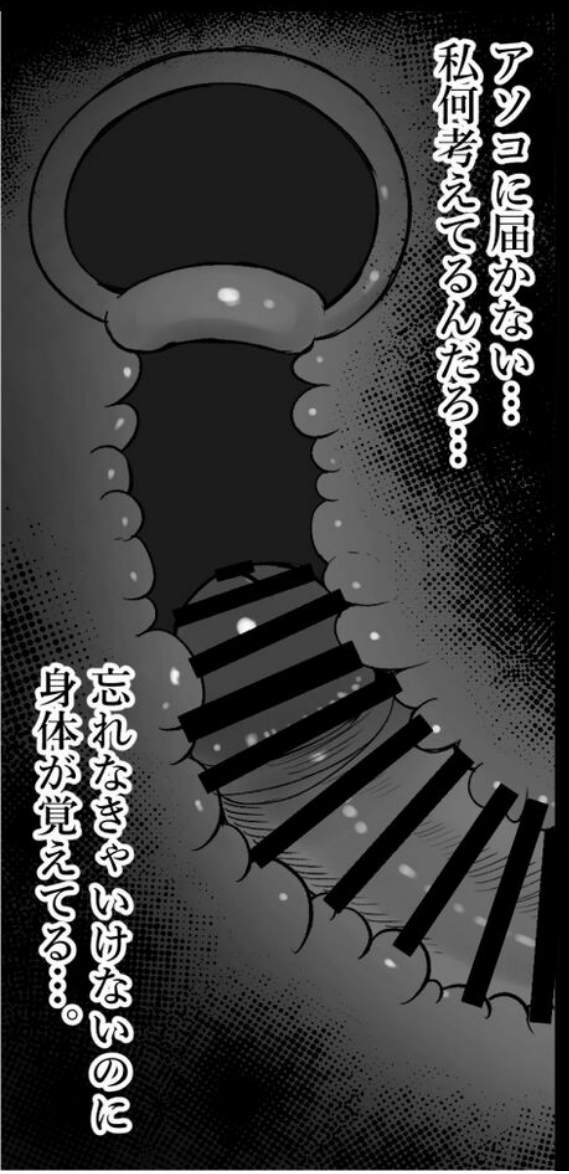


みさき…
気持ちいい？

気持ちいいよ…

ノッ♡

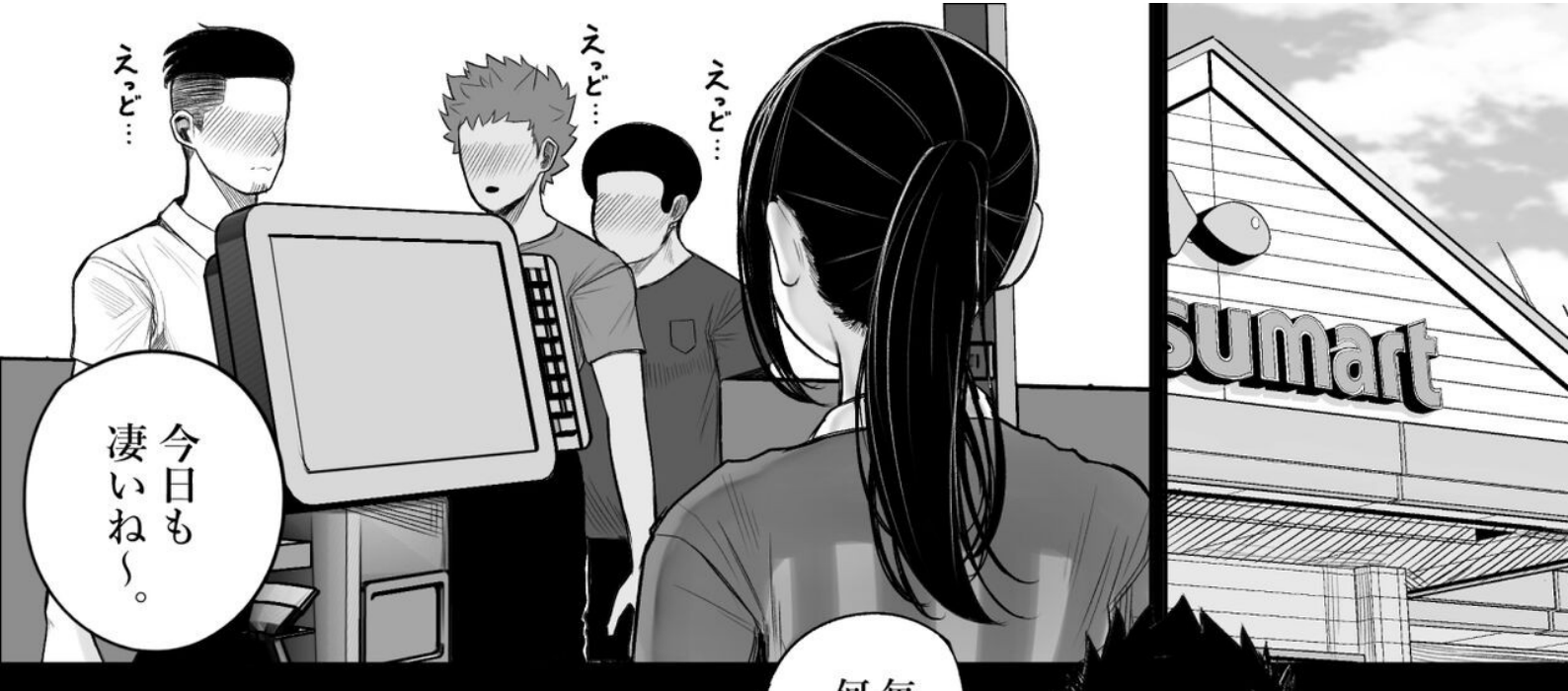
ハッ♡



アソコに届かない…
私何考えてるんだろ…

忘れなげやいけなのに
身体が覚えている…





今日も
凄いね。

えっど…

えっど…

えっど…

sumart



毎日、毎日…
何なのこの列。

篠田ちゃん。ここ
俺が変わるよ。

あ、店長…お気遣い
ありがとうございます。



はいはい。
どんどん会計
しますよ。

なんだ…
おっさんに
変わったし。

最悪だわ…
帰ろっと。

あいかわらず
優しいな…店長。



変化なしです。
相手は1人
見つけられました。

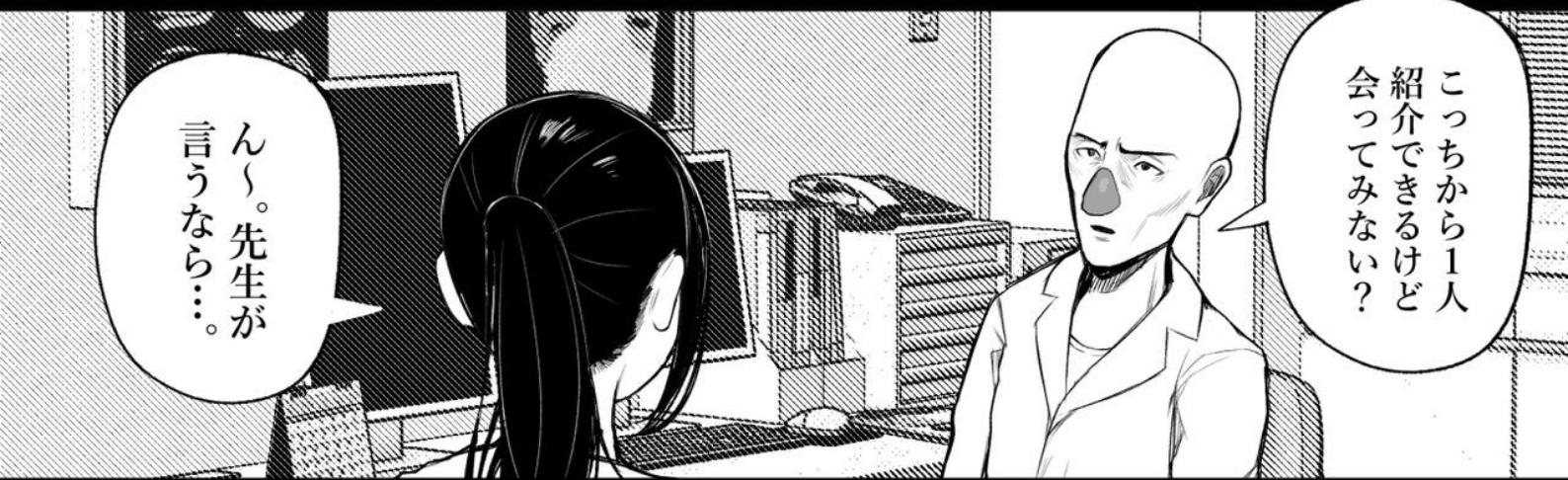


あれからどう？
身体の調子は？
相手は見つかった？



ん。じゃあ
あと1人か。

はい…。



こっちから1人
紹介できるけど
会って見ない？

ん。先生が
言うなら…。



どんな人たる…。



ラブホとか
何年も来てないな…





し、篠田ちゃん…
その格好は…？

いや…あの…
いつもの格好だと
流石にやりづらい
かなって…

ま、まあ
篠田ちゃん
既婚者だし…

その格好だと別人
っぽくて罪悪感
紛らわせるかもね…

良かった…
です…



じゃあ…
最初に私が
口でします…

え、いいの？



私のために来て
くれたのにすごい
気使わせてる…



すごい可愛いけど
俺から行くのはなあ…

どうしよっか…

篠田ちゃんの息
息当たってる…。



でっか…。



いけるかな…
これ…



あー
ほー

すごい奥まで
くわえてくれる。

舌で舐め回され
てて気持ちいい。

ヤバい：
イキそう。

篠田ちゃんの
バキエーム
フェラ♡



篠田ちゃん…
ごめん口に
出しちゃった

篠田くん、
大丈夫？
顔色悪くない？

すみません…
ちよつと席外します…。

どうする俺： 気になって何もできない 楽になりたい： 1

ビデオから勝手に携帯に移して…

後悔するだけだろ…

見てどうすんだ…

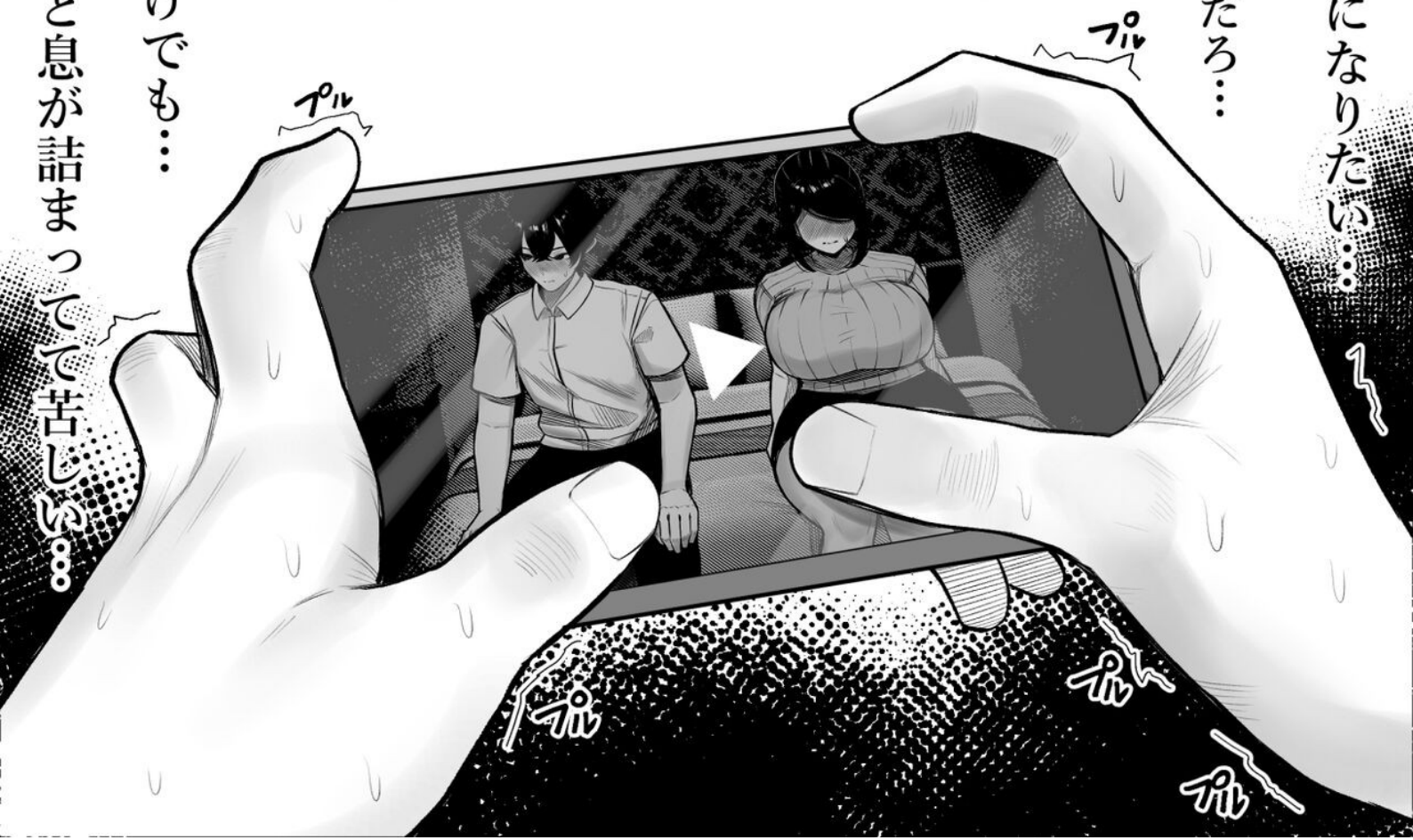


昨日からどんなことも集中できない…

見たら楽になれるのか？

せめて音だけでも…

ずっと息が詰まってて苦しい…





カリでっかい...
中がキツく
なってる♡

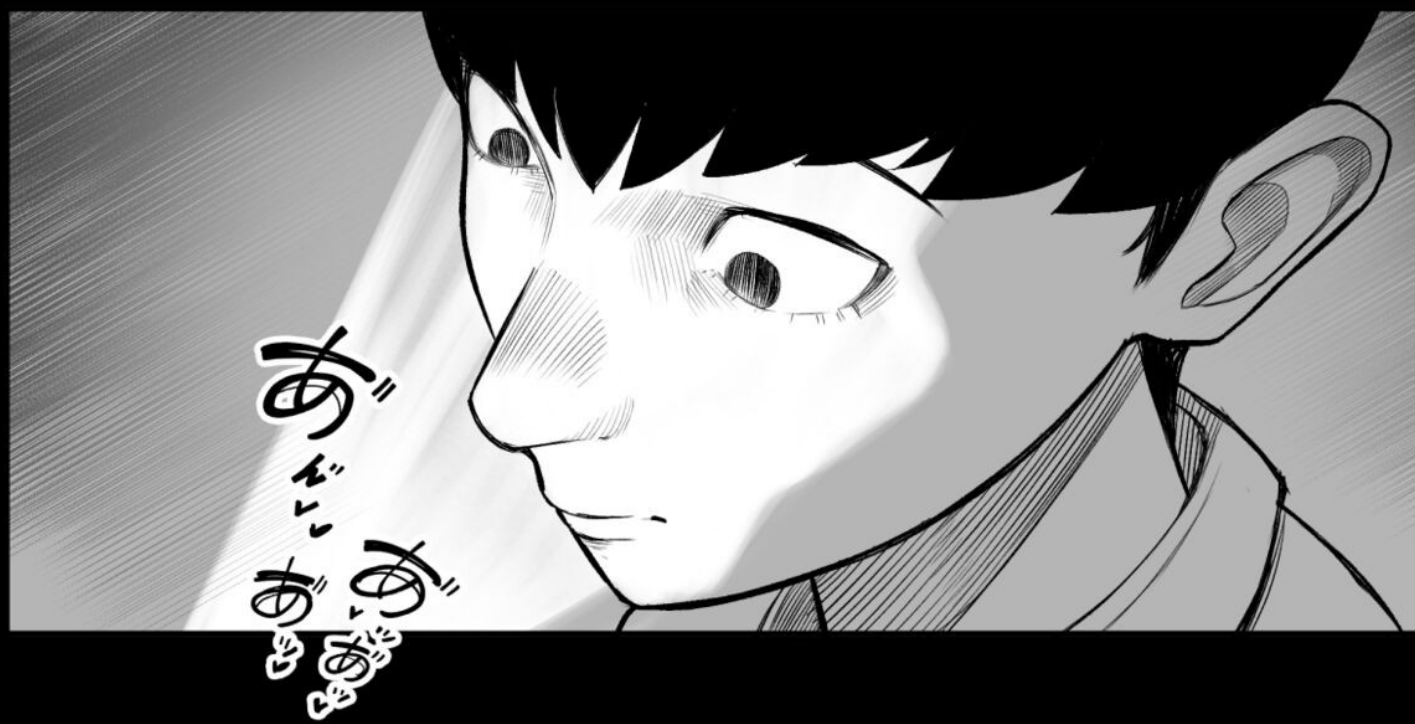


あの所に
当たってる♡

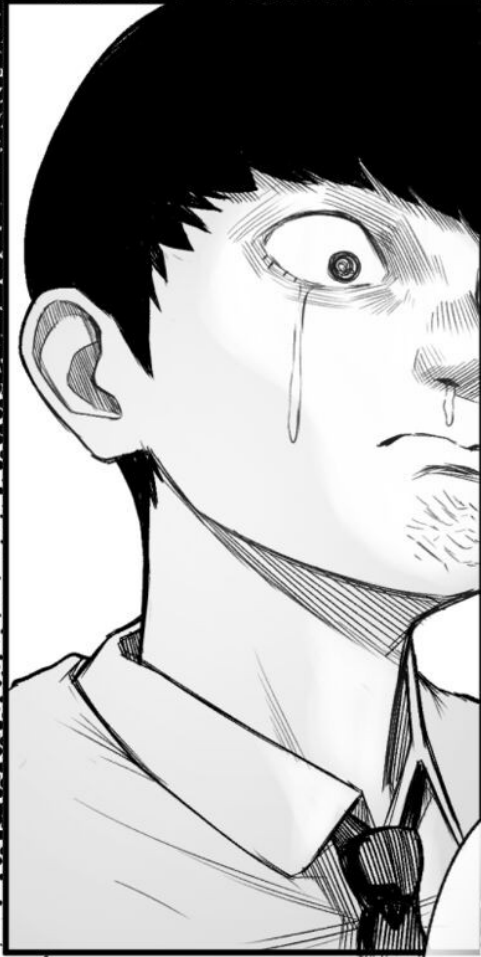
どろろどろろ



どろろ







店長の太くて
子宮にズンズン
刺激が伝わる…
気持ちいい♡



ずっと一緒に
いてくれますか…。

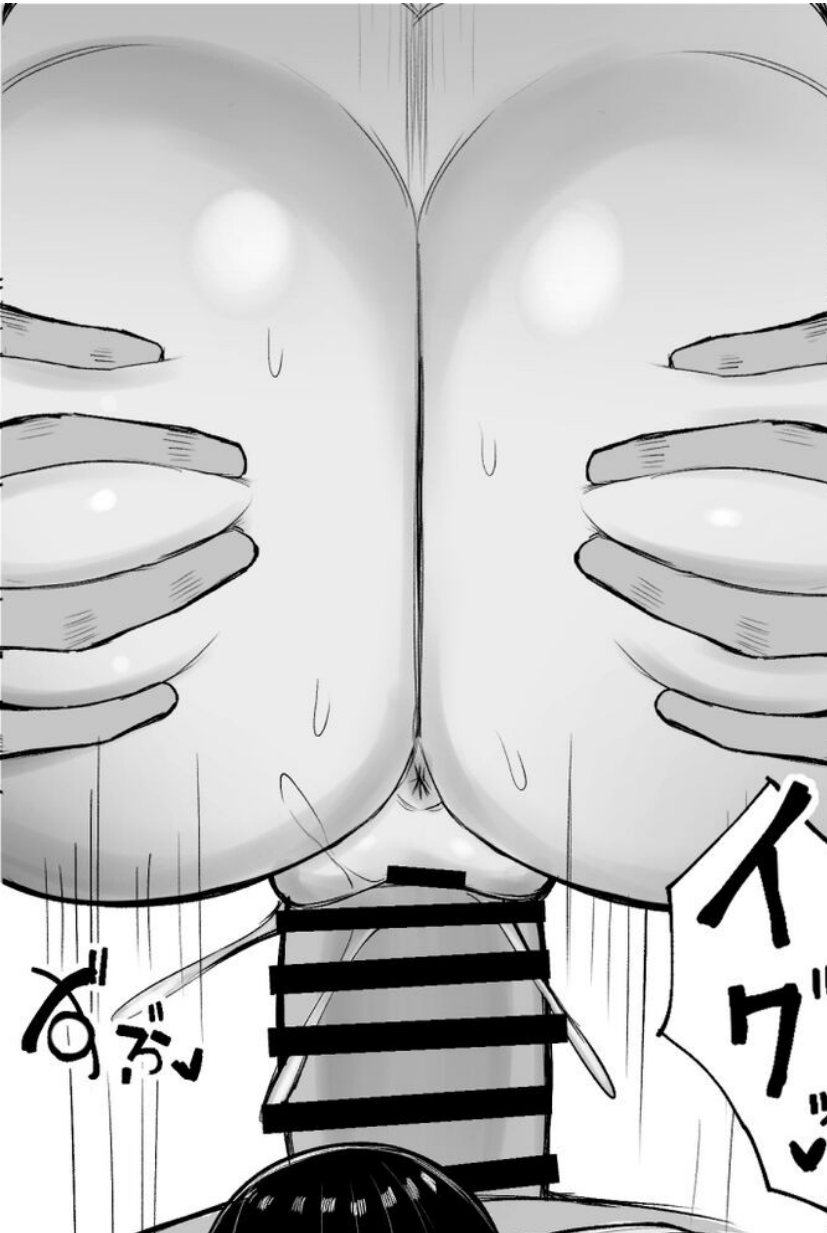
はい…。

愛してる…

心の空から…

あーん
あーん
あーん
あーん





ヒッパッ

ヒッパッ

ヒッパッ

ヒッパッ

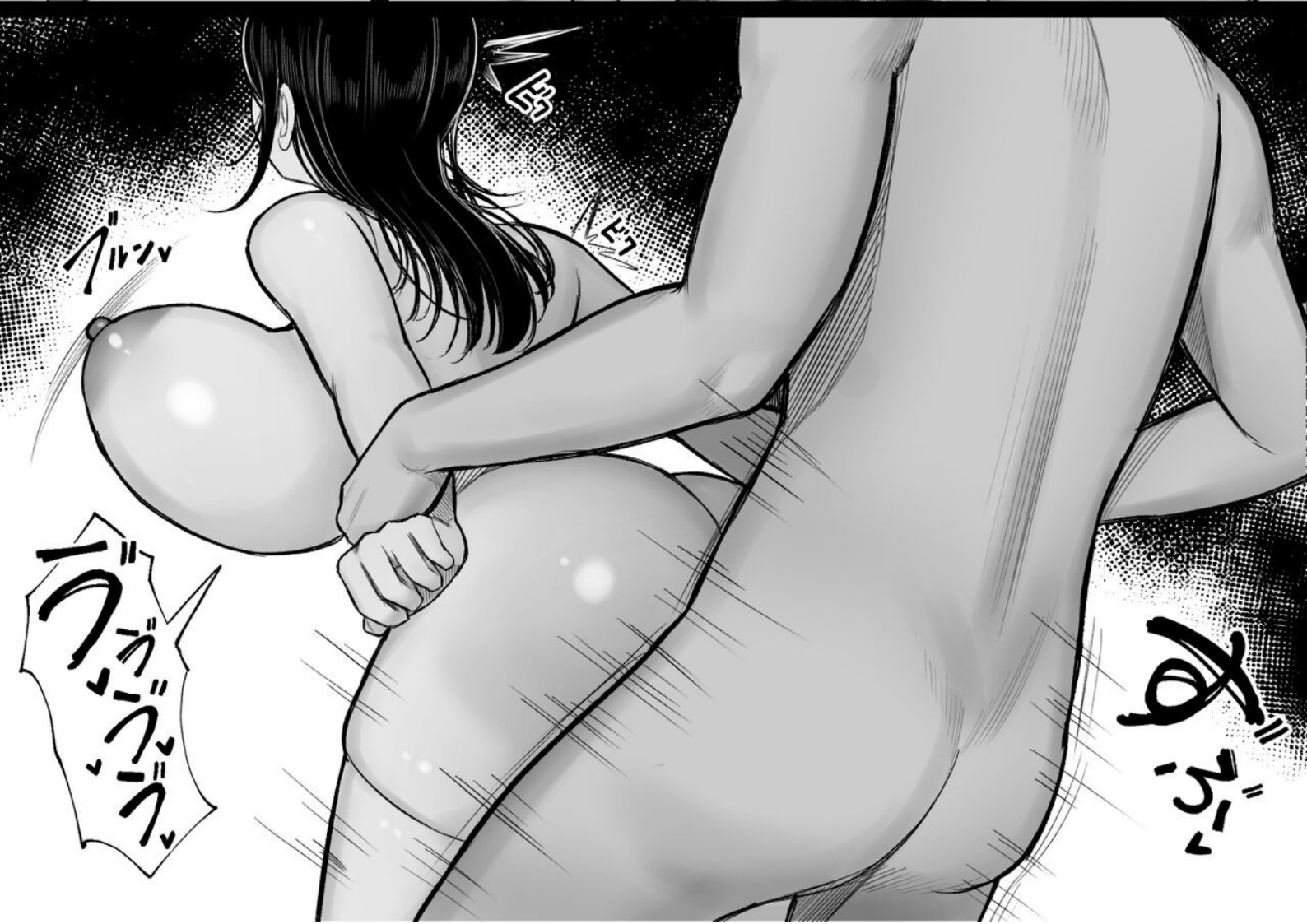
ヒッパッ





篠田ちゃん…俺…
また勃ってきちゃった。

1回中に出して
もらえれば十分
なんですけど…



ずぶ

ぐぐぐぐぐ



いったばっかの
弱った子宮に本気で
突っ込まれてる♡



ヤバい…♡
意識飛んじや…





あぁあぁあぁ
ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



ズビュ
ゴッ

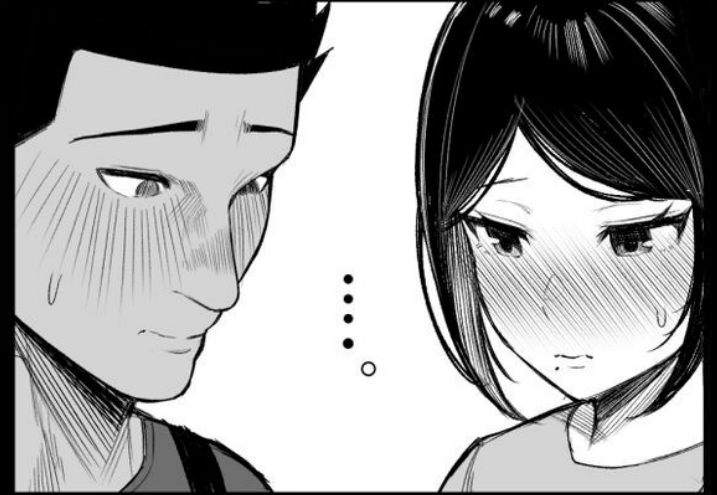
ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

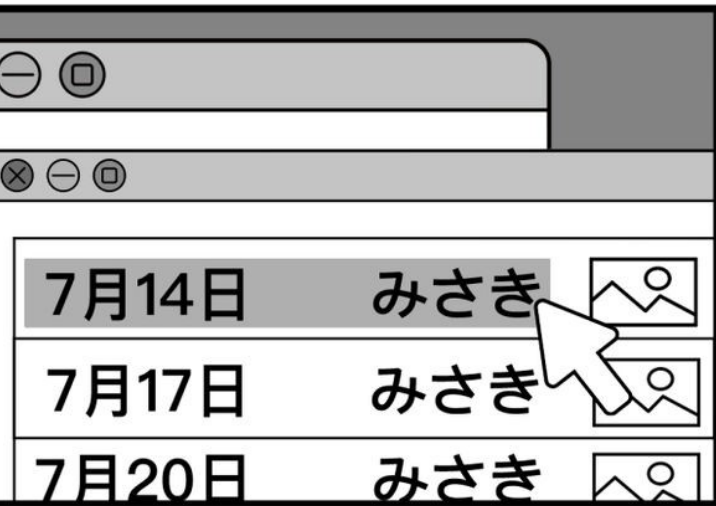
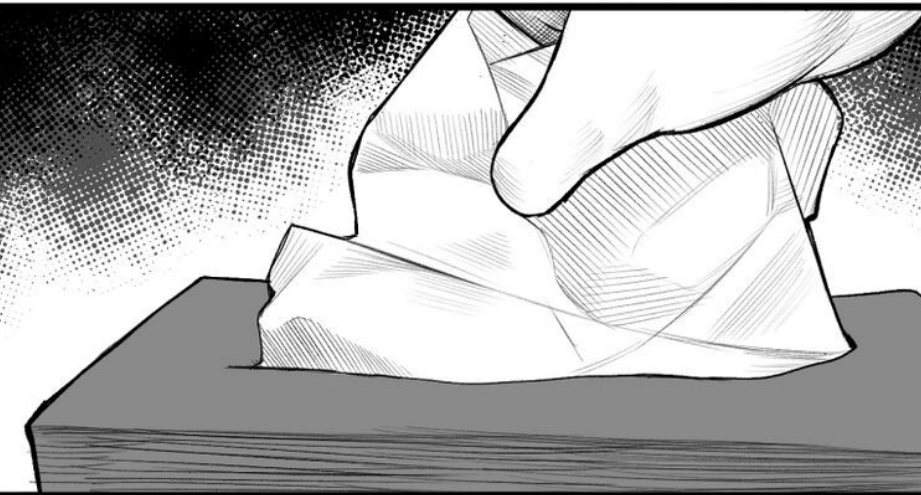




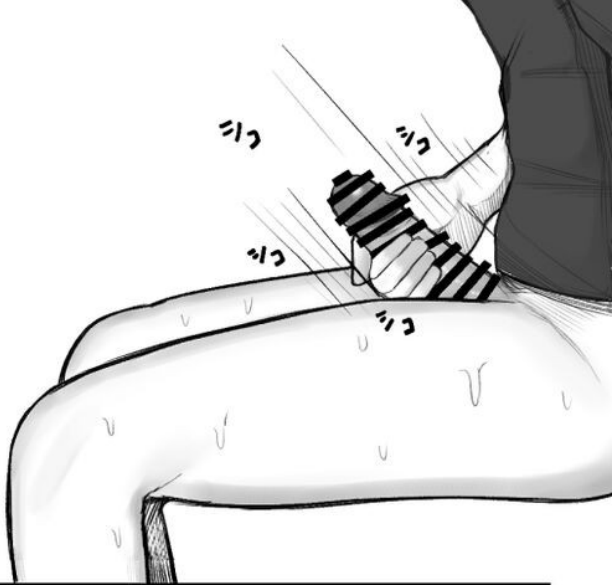


この壁の
向こう側で…

気づけば
この時間が



クセに
なっていた。



こんなこと
今まで好きじゃ
なかったのに…

これも、病気の
せいなんだろう…